

用 語 集

用語	概要
AHIC(American Health Information Community)	全米医療情報コミュニティと呼ばれる諮問委員会
CT(Computed Tomography)	X線を使って体の中を輪切りにしコンピュータで画像処理するもの。
CIO(Chief Information Officer)	情報統括役員。組織の戦略として情報システムをいかに活用するかを立案・実行する情報資源管理の責任を持つ。
DICOM (Digital Imaging and COmmunications in Medicine)	医用デジタル画像と通信に関する標準規格。米国放射線学会(ACR)と北米電子機器工業会(NEMA)が開発。日本国内においても日本放射線機器工業会(JIRA)で医用画像と通信の標準規格として採用されている。
EBM(evidence-based medicine)	エビデンス(科学的根拠)に基づいた医療を行うこと。臨床の現場で直面する問題を解決するための一手法。
EHR(Electronic Health Records)	生涯電子医療記録。医療情報データベースそのものをいう。
EPR(Electronic Patient Records)	電子患者記録
HIT(Health Information Technology)	医療に関する情報技術
HL7(Health Level 7)	医療情報交換のための標準規約。患者情報、検査オーダー、照会、財務、検査報告、マスタファイル、情報管理、予約、患者紹介、患者ケア、ラボラトリオートメーション、アプリケーション管理、人事管理など医療施設で利用される様々な電子情報を異なる施設間・システム間でもやりとりできるように取り決められた国際的なプロトコルである。
HPKI	保健医療福祉分野において医療情報を地域で連携して利用するための公開鍵基盤。
ICD10 (International Statistical Classification of Disease and Related Health Problems Tenth Revision)	WHO発行の国際疾病分類を行うための標準化のためのコード。
ICT (Information and Communication)	情報通信技術を表す言葉。
ICTマネジメント	医療機関やそれに関わる組織でICTをどのように用いるかという取り扱い。
ICカード(Integrated Circuit カード)	キャッシュカード大のプラスチック製カードに極めて薄い半導体集積回路(ICチップ)を埋め込み、情報を記録できるようにしたカード。
IDS(Intrusion Detection System)	侵入検知システム。通信回線を監視し、システムへ対する侵入・侵害を検知・通知するシステム。
MRI(Magnetic Resonance Imaging)	磁気共鳴画像。磁場を用いて体内の二次元画像を得ることができる。
PACS (Picture Archiving and Communications System)	医療用デジタル画像の保管やネットワーク転送を行うシステム
SSL(Secure Socket Layer)	WWWブラウザ、WWWサーバー間でデータを安全にやり取りするための業界標準プロトコル。
UWB通信(Ultra Wide Band 通信)	超広帯域無線。無線通信の方式のひとつでデータを1GHz程度の極めて広い周波数帯に拡散して送受信を行なう。
VPN(Virtual Private Network)	公衆網をあたかも専用網であるかのように利用できるサービスの総称。
XML(eXtensible Markup Language)	文書やデータの意味や構造を記述するためのマークアップ言語の一つ。コンピュータ同士でのデータの送受信等に使用される。
アルゴリズム	コンピュータを使ってある特定の目的を達成するための処理手順。

用 語 集

用語	概要
医薬品コード	医薬品自体を番号で示したもの。 (例:レセプト電算処理システム基本 マスター医薬品コード:厚生労働省保険局保険課で指定されたレセプト請求用コード)
医療3次元画像処理技術	物体を立体的に表示させる技術の医療への応用。
インセンティブ	目標達成のための報奨金、もしくは優遇処置。
インフォームド・コンセント	説明と同意のこと。患者が自分の病気と医療行為について、知りたいことを知る権利があり、治療方法を自分で決める権利を持つこと。
遠隔医療	映像を含む患者情報の伝送に基づいて遠隔地から診断・指示などの医療行為・医療支援及び医療に関連した行為や診断を行うこと。
オーダリングシステム	検査・処方等に係る情報伝達システム。
オミックス医療	ゲノム、トランスクリプトーム、プロテオーム等の網羅的分子情報に基づいた医療および予防。
逆紹介	病院から患者の住居付近のかかりつけ医などへの紹介。
クリティカルパス	医療の内容を評価・改善して、質の高い医療を患者へ提供することを目的とし、入院から退院までの経過や検査の予定などをスケジュール表のように計画を立てたもの。
根拠に基づく医療	EBM参照。
生活習慣病	食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣がその発症・進行に関与する症候群。
情報リテラシー	情報を使いこなす能力。
診療ガイドライン	特定の臨床状況のもとで、適切な判断や決断を下せるよう支援する目的で体系的に作成された文書。
生体認証	バイオメトリクス認証。バイオメトリクス(生体情報)にほる本人認証方式全般を指す言葉。指紋や眼球の奥の虹彩、あるいは声などの身体的特徴によって本人確認を行なう認証方式。
セカンドオピニオン	第二診断。患者にとって最善と考えられる治療を行うために、患者が主治医以外医師の意見を聞くこと。
センサーネットワーク	様々なセンサを備えた無線端末を分散配置することにより構築できる無線ネットワーク。
地域連携クリティカル・パス	地域内で各医療機関が共有する、各患者に対する治療開始から終了までの全体的な治療計画。
ディスインセンティブ	インセンティブの逆。目標達成できなかった場合の罰金、罰則。
テーラーメイド医療	個人の遺伝子差異に合わせて、投薬や治療を行う技術。
電子署名	デジタル文書の正当性を保証するために付けられる署名情報。
電子タグ	数ミリ程度のICチップと、データを送受信するためのアンテナを内蔵したタグ。薬品などの情報を記録したICチップをつけて、電波や磁気で情報を読み取る。
トリアージ	災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や程度に応じ、適切な搬送・治療を行うこと。
トレーサビリティ	考慮の対象となっているものの履歴、適用又は所在を適用できること。
ナノセンサ	ナノテクノロジーを用いて設計、構築されるセンサ。分子、あるいは原始レベルでの検知が可能。
ナノロボット	注射器で注入できるほどの大きさの超小型ロボット。これを用いて体内から患部を治療する。
バイタル情報	脈、血圧、血流、血中飽和酸素濃度、心電、体温、体動加速度等の人体に関わる情報。
バイタルデータ	脈、血圧、血流、血中飽和酸素濃度、心電、体温、体動加速度等の人体に関わる情報。
バイタルモニタ	生態情報モニター。血圧や心電図等が計測できる。

用 語 集

用語	概要
病院内レガシーシステム	病院において新規に開発・導入する情報システムに対して、それ以前から利用している既存のシステム。
標準マスター	病名、検査名などの特定の種類に属する項目の標準化された集合。
プロトコル	データ通信を行うために必要な通信規約。
ヘルスケアPKI	HPKI参照。
モニタリングケア	継続的に患者の状態を観察アセスメントしていく一連のケア行為。
ユビキタスネット技術	モバイルあるいはワイヤレス通信技術や超小型センサーによるセンサーネットワーク技術に基づいた情報通信技術。
ユビキタスネット社会	ユビキタスネット技術を用いて生活環境を情報化・知能化をすることにより形成される快適、安心、安全な社会。
ユビキタスネットワーク	従来の有線ネットワークに、モバイル、ワイヤレス通信、センサーネットワーク等を加え環境情報化・知能化を目的としたネットワーク。
用語コード	それぞれの用語に番号を割り当てて数字で示すことができるようにしたもの。
予防医療	病気にかからないよう未然に防ぐ医療。
臨床医学	患者の診断と治療を目的とした実地医療を根幹とする医学。